

2020年3月期第1四半期 決算説明会 主要Q&A

Q：上期見通しについて

A：上期見通しまでの2Q期距離は、売上高603億円（対前年－59億円）、営業利益45億円（対前年－17億円）です。2Q期首の受注残が1,344億円（対前年＋161億円）と積みあがっていることに加え、1Q期が好調に進捗いたしましたことも踏まえ、堅調なIT投資を着実にとらえ、上期見通しの売上高1,420億円、営業利益124億円の達成を目指します。

Q：下期見通しについて

A：下期につきましては、1Q期で受注した公共公益の大型プロダクト販売60億円を見込み、売上高を1,440億円と当初見通しに対し＋60億円といたします（対前年＋34億円）。営業利益については、当初計画から変更なく148億円（対前年＋4億円）と見込んでおります。なお、売上高総利益率も当初計画通り、大型プロダクト販売、赤字影響を除いた前年度と同水準で見込んでおります。

Q：日本製鉄向けの1Q期増収要因と通期の見通しについて

A：1Q期の日本製鉄向け売上高は商号変更対応（数億円）の影響もあり140億円（対前年＋13億円）と順調に進捗いたしました。通期の見通しに関しては、日本製鉄が2020中期計画に掲げる高度IT活用への取り組みにより引き続き高水準が継続するものと期待しております。

Q：クラウドサービスの進捗について

A：1Q期のクラウドサービスは、対前年二桁の伸び率です。年度計画175億円の売上計画（対前年＋10億円）に対して順調な進捗です。

以 上